

平成27年度「六甲山の災害展」アンケート集計結果

平成27年8月11日(火)～8月23日(日) 12E
人と防災未来センター 1階

1 本日は、どちらから来られましたか？

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	神戸市内	110	44.5%
②	阪神地区	24	9.7%
③	播磨地区	6	2.4%
④	但馬地区	0	0.0%
⑤	丹波地区	3	1.2%
⑥	淡路地区	0	0.0%
⑦	他都道府県	104	42.1%
	未記入	0	0.0%
		247	100.0%

2 あなたの年齢を教えてください。

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	12歳以下	58	22.9%
②	13歳から18歳	14	5.5%
③	19歳から30歳	18	7.1%
④	31歳から40歳	48	19.0%
⑤	41歳から65歳	86	34.0%
⑥	65歳以上	29	11.5%
	未記入	0	0.0%
		253	100.0%

3 あなたの職業を教えてください。

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	自営業	11	4.4%
②	会社員	58	23.1%
③	公務員	25	10.0%
④	パート・アルバイト	24	9.6%
⑤	専業主婦	35	13.9%
⑥	学生	77	30.7%
⑦	その他	20	8.0%
	未記入	1	0.4%
		251	100.0%

★その他(具体的に)

無職

小学生

小学生

小学生

小学生

教員

看護師

無職

2年生

民生委員
民生委員
建築士

4 六甲山の災害展はどこで知りましたか？

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	兵庫県ホームページ	16	6.5%
②	新聞・テレビ・ラジオ	14	5.6%
③	パンフレット	23	9.3%
④	口コミ	14	5.6%
⑤	人と防災未来センターに来場して知った	150	60.5%
⑦	その他	29	11.7%
	未記入	2	0.8%
		248	100.0%

★その他(具体的に)
昨日、神戸市役所の防災課を訪ねて
修学旅行の下見で
人と防災未来センターのHP
小学校で
自治会の会議で
家族に教えてもらった
インターネット
知人に
ネット検索
近くを車で通った
お母さんに教えてもらった
市、社協
学校からチラシを持って帰ってきたので
息子から
お父さんから
旅行社

5 人と防災未来センターへ来場のきっかけは？

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	研修	37	14.1%
②	観光	25	9.5%
③	クールスポット	3	1.1%
④	学校の宿題	59	22.4%
⑤	興味があった	70	26.6%
⑥	ぶらっと立ちよった	19	7.2%
⑦	その他	45	17.1%
	未記入	5	1.9%
		263	100.0%

★その他(具体的に)
業務参考ための調査
ワークショップ
ワークショップ

ワークショップ
学校からのプリント
学校からの配布物
ミサンガづくり
イベント
家族に同行して
学校からもらったパンフレットを見て
体験プログラム
知人
ミサンガづくり
イベントに参加
イベントへの引率
夏休みの防災未来学校の参加で
修学旅行の下見
修学旅行の下見
夏休みのプログラム
パンフレット
キャンドルづくり
キャンドルづくり
イベント
インターネット
学校でもらったチラシ
防災未来学校
イベント
子供のワークショップ
紙芝居
以前来たことがあった
WSへの参加
自由研究
参加予定のイベントがあった
息子から
お父さんから
お父さんに聞いた
学校からの配布物、履き物づくり
防災教室？

6 展示内容で、印象に残ったものはありますか？

(複数回答可能とした設問)

		数	比率
①	自分の命を守るのは自分です	52	9.1%
②	災害・復旧写真	52	9.1%
③	震災後の新たな取組	17	3.0%
④	災害対策について	21	3.7%
⑤	降雨体験装置「カツパくん」	85	14.8%
⑥	土石流模型実験装置	157	27.4%
⑦	3D映像装置「びっくりくん」	107	18.6%
⑧	過去の災害	47	8.2%
⑨	CGハザードマップ	19	3.3%
	未記入	17	3.0%
		574	100.0%

7 お住まいの地域で、不安を感じる災害の順番をつけてください。(3つまで)
(複数回答可能とした設問)

		数	比率
①	地震	163	31.3%
②	津波・高波	76	14.6%
③	洪水	73	14.0%
④	土石流	51	9.8%
⑤	地すべり	47	9.0%
⑥	がけ崩れ	59	11.3%
⑦	ため池	7	1.3%
	未記入	45	8.6%
		521	100.0%

8 あなたのお住まいの場所は土砂災害防止区域(イエローゾーン等)に指定されていますか？
(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	指定されています	22	9.2%
②	指定されていません	99	41.3%
③	わからない	71	29.6%
	未記入	48	20.0%
		240	100.0%

9 今年度の7月16日～18日の3日間で台風11号による400ミリを超える降雨が阪神間で集中しました
その間に避難勧告が183,979人に発令されましたが、わずか0.5%の917人しか避難された方はい
ませんでした。

そのときあなたはどのように行動されましたか？

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	避難勧告の発令区域でなかったので避難し なかった。	119	49.4%
②	自宅が避難勧告の発令区域かどうか分 からなかったので避難しなかった。	6	2.5%
③	自宅が避難勧告の発令区域かどうか分 からなかったが避難した。	1	0.4%
④	自宅が避難勧告の発令区域であったが、避 難場所が分からなかったので避難しなかつ た。	6	2.5%
⑤	自宅が避難勧告の発令区域であったが、避 難場所までの道中が危険であるので避難し なかった。	17	7.1%
⑥	その他(具体的に)	25	10.4%
	未記入	67	27.8%
		241	100.0%

★その他(具体的に) ※住居地が神戸市内、阪神地区以外の内容は掲載していない。(他府県のため等)

自宅が避難勧告の発令区域であったが、友人宅や自宅2階で過ごし様子を見ました。

住居地が土石流の心配は少ないと思った。

勤務中でした。

大丈夫だと思ったから避難しなかった。

山口県へ帰省中だった。

避難勧告区域であったが、自己判断で避難しなかった。

近くの避難所も危険だと思われるので。

おかげさまで何も無かったです。
奈良県で工作中だった。
家から避難所まで近いので、すぐ避難できるから家に居た。
塾にいたため避難しなくて良かった。
出張中だった。
自宅が発令区域なのは知っていたが、子供が小さいのと避難先になっている中学校の状況が分からなかったので、避難しなかった。

10 災害展を見て、あなたの防災に対する意識は向上しましたか？

(家族で1枚に記入のアンケートあり)

		数	比率
①	はい	88	42.1%
②	少し変わった	89	42.6%
③	あまり変わらない	8	3.8%
④	いいえ	1	0.5%
⑤	わからない	1	0.5%
	未記入	22	10.5%
		209	100.0%

11 災害展を見て、あなたがすぐにしようと思ったことは何ですか？

その他、感想についても自由にご意見をお聞かせください。

★すぐにしようと思ったこと
防災グッズの点検
いつでもすぐ逃げられるように準備しておく
とにかく避難勧告が出ている区域なら避難しようと思います。
家の建て替え、水の貯蓄
たくさん雨が降ってきたら家に帰る
家族で避難場所についての話し合い
災害に対する意識を変えてゆこうと思います
防災グッズを備えること生活用品を備蓄すること
避難する場所の確認をすること
家族とも話をして生活用品などもそろえなくてはいけないなと思った
地震対策 道具の準備
地震対策 どうぐの準備
すぐにげる
災害があった時につくえの下などさっさとこうどうするようにしたい
ひなんくんれん
ハザードマップを確認しようと思う。安全な避難場所など、知っておきたいと思う。
いつなにがおきても大丈夫なように心のじゅんぴと、たべものや水などの必ようなものじゅんぴ
ハザードマップを確認しようと思った
避難場所の確認
いろいろな災害についての知識が必要でもっと調べようと思った
豪雨の時は川に近づかない
地震や津波の際の決め事と対処法を家族で話し合う。
保存食の確保
防犯グッズについて考えてみる
防犯グッズをそなえる
災害そのものについて知る事に努める
防災グッズの購入
備品を買う
いい遊びに行く時はあらかじめ天候の変化に気をつける

避難意識の向上
川が災害に対する工夫がされてるけど気を付けないといけないという気持ちになった
川の近くに住んでいるので雨に対する意識を高めようと改めて感じた
子供にも近くに土砂災害の区域があることを話したいと思った
簡易トイレの製成
予報をしっかり聞く
ハザードマップ確認
大雨がふりそうだったらひなんする
にげる
天気が急に変わると川に近づかない方がいいと分かった
ぼうさいグッズの見なおし
地震対策
地しんのためのたいさくなど
じしんのことしかかんがえていなかったけどえいぞうを見てどしゃくずれのことがよくわかりました
すごくこわかった
すごくこわかったどしゃくずれがこわかった
災害がおきたときのために、そなえようと思いました。
災害がおきた時の必要な物を用意しておく。
ぼうさいじゅんび
情報早く調べてひなんする。
日常からの備え
まあだいじょうぶしよう
防災グッズの確認、避難場所の確認
降雨量を早く知り、避難できるようあらかじめ準備する
雨が降ったら近づかない
増水した川には近づかない
非常用持出品の準備
防災マップを再確認しようと思った
雨が降ったら川に近づかない事を再度子供に教えて行こうと思いました。
危険個所の確認をする
帰ったら自宅近くのハザードマップを見ようと思った
自分が住んでいる所の地形等を考えてから対処すべきではないかと思います
雨だからと言って油断しないようにしようと思いました。
災害時家族と会える様、集合場所などあらかじめ相談しておきたい。
避難所の確認
ハザードマップの見直し。家族全体での意識強化。
危険なところの確認
家の周りの危険個所の確認
大雨情報を把握する
減災グッズの充実。家族間の連絡の確認など
避難用具を定期的に点検する
常に警戒しようと思った。
自然の危険性をあらためて心に刻んでおこうと思った。
災害マップ等をあらかじめチェックしようと思った。
日頃の準備
保存用の水などの準備
ハザードマップの再確認
日頃からの対策と行動のチェックをしておきたい
家具の転倒防止
降水量が多い時に河川に近づかない
防災グッズ(家・車)再確認 緊急時の連絡方法の確認

防災グッズの用意
防災グッズの点検
避難経路について家族で話し合う。
ハザードマップを確認する。
もけい実験がおもしろかった
避難用リュックの準備
やっていることもあるので特になし。
備え
逃げる意識を持つ 備えを用意する
防災グッズを備えること生活用品を備蓄すること買おうと思った
防災マップの具体化
食料の備蓄は必ず用意する。危険だと思ったら安全な場所へ避難する
建具の危険な所を再チェック(ゆるみがないかどうかなど)
どこかに行く時も0次ポーチを持ち歩く
地衣の避難場所等の確認 自分でできます。
備えよを考えさせられました。今迄何も考えなかった事はずかしく思います。
ひなんリュックを作る
非常食等の災害に対する買物
避難持ち出し品確認
大雨がふったら安全な場所に避難する
火を消す自助共助 自分の身は自分で守る
まず、身の回りの確認準備情報を常にキャッチすることの大切さ
1人暮らしなので近所の人との交流が大切
自分で自分を守りたい
★その他感想
覚えておこうと思います。
大変だと思った。
防災への取組の目をもっと向けていきたいと思った。
デモがわかりやすくて良かったです
治山ダムが六甲山に2000もあるなんて全く知らなかったので勉強になりました
地震の怖さを改めて学べたと思います。
以前来たときは災害のツメのあとを感じる町の様子でしたがみなさんの努力ですばらしい都市に生まれ変わっていて人の力の大きさを感じました。水は私たちにとって大切ですがそれをこえるときようきにかわる。その為にも防災意識は大事だと思いました。いい勉強になりました。あり
大変わかりやすい説明をありがとうございました
子供が小さいため、実施の避難先になっている学校のどこへ行けば良いのか、避難が始まるとどうなるのか、事前に体験や説明が受けられる機会があれば良いと思います。
いろいろなたいけんができてよかったです。とてもわかりやすいせつめいでおしえていただきありがとうございます
土石流は怖いと思った
治山対策の大切さがわかった
自分は大丈夫だと思ってはいけなかった
1. 17の恐ろしさを体感できたので役に立てる。
子どもをどうやって守るのかを考えさせられた
チェックリストをもらったので家で用意しようと思います。
いろいろな事を学んで勉強になったのでよかったですと思いました
治山事業特に最近は集中豪雨が多いので神戸は山と町が近く大災害が起こりやすい事を再認識
神戸の山々、川がこれだけ災害に対する対策があった事を感じた
治山という言葉を知りました
土石流、治山ダムの役目がよくわかった
さいがいはこわいんだなと思いました

土石流模型実験がおもしろかった
土石流の模型や3D映像を見て雨がふってたりくもっていたらちかづかないことがわかりました。
この辺は都会だからどしゃないから良い
体験コーナーはわかりやすく子供たちも理解できました。ありがとうございました。
土石流の事がわかりました。
子供たちがしんげんに話を聞いていて良かったです。
土石流の装置が見やすくわかりやすかった。
ダムを造っただけで被害が少なくなる点
大洪水がどれだけ恐ろしいか知らなかったので驚きました。
子どもの目田研究で防災についてまとめています。その中で言葉として表現されているものを実際に
目たり体験できたりすることは価値ある事だと思います。ありがとうございました。
見てこわかったからなにかがおこったときは気をつけたいです
おねえちゃんとききました
多くの人にもっと見てほしい
とても心にせまりました。ありがとうございました。
被災し普段の生活の中で見えなかったものが見えてくる。あの恐怖は忘れたいけど決して忘れない
心に残りました
私は25年程前までは神戸市内に住んでおりました。辛が(不幸)震災にはあわなくて済みましたが
いつまでも語り継がれて日本国民が災害にゆげめ様減災を目指す指針となってください
ひなんしょがわかったらすぐに行く
来場して良かった
災害の恐さがよくわかった
ダムの重要性や六甲山にあるダムの数に驚きました
常に洪水を気にしての地域に居住しているので非常に関心度が高い
災害は恐ろしいと思った。
川遊びなど急な天候の変化には特に注意しようと思った。

